（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和５年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	聖高原レガシー再発見事業
事業主体 （連絡先）	麻績村 麻績村役場　観光課　0263-67-2133
事業区分	産業の振興・雇用拡大（観光）
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,360,707 円（うち支援金：950,000 円）

事 業 内 容

聖高原の魅力発信として、これまでガイドや案内、展示場の整備ができず誘客効果の薄かった聖博物館にて、有志のボランティアグループによる展示物の案内や清掃、村との協働によるイベントを開催。県内唯一である航空資料館として盛り上げ、年代を問わず楽しみ、学べる環境を整え、次世代につながる整備を実施

また、聖高原へ愛着をもってもらうことを目的として、地域住民参加による聖博物館の展示物清掃や整備活動を実施。

事業期間：令和 5 年 5 月 22 日から令和 6 年 1 月 19 日

年間来場者数：1,100 名

【７月イベント来場者（奥は乗り物教室参加者）】

【目標・ねらい】

① 観光ＰＲによる誘客
② 聖高原の魅力発信
③
④

事 業 効 果

① これまでは展示物の説明は案内板だけであったが、ボランティアグループがガイドを行うことで、より詳細な説明をすることができたため、来場者の満足度につながった。また、イベントの情報などはＨＰやＳＮＳで発信していたが、来場者が聖博物館に訪れたことを写真付きでＳＮＳに投稿することも多く、口コミ的な宣伝効果も感じることができた。
② 展示物の清掃や整備を通して地域住民に改めて聖博物館について知ってもらい、興味を持つ機会を作ることができた。また、聖高原には体験型の観光施設が多いため、ＳＮＳを通じて県外から来場された方に聖博物館の魅力と併せて爽やかな聖高原の魅力を知ってもらうことができた。

※自己評価【Ｂ】

【理由】
天候不良などでの理由により全体的な来場者数は前年比減となったものの、来場者数そのものは増加しており、聖高原の活性化につなげることができたと感じる。

今後の取り組み

本事業の実施により地域住民に聖博物館へ訪れてもらう機会が増えたため、今後もイベントの実施などを通じて地域住民にとっても聖高原の１つの魅力として関心及び愛着を持っていただけるよう活動を続けていきたい。

また、航空や鉄道といったファン要素のある展示内容であるため、そういったものに興味がある層へ情報が届くようＳＮＳを中心に積極的な発信をしていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある